

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成23年 6月15日

オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名¹			
木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト ～ 水源の森づくりプロジェクト ～			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	社団法人 木曾三川水源造成公社 (シャダンホウジン キソサンセンスイケンゾウセイコウシャ)		
住所	岐阜県岐阜市藪田南五丁目 14 番 53 号		
代表者氏名	古田 肇	代表者役職	理事長
担当者氏名	佐藤好秀	担当者 所属部署・役職	業務課 業務課長
担当者 E-mail	sato@kiso3sen.org	担当者電話番号	058-277-1065
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	社団法人 木曾三川水源造成公社 (シャダンホウジン キソサンセンスイケンゾウセイコウシャ)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	社団法人 木曾三川水源造成公社 (シャダンホウジン キソサンセンスイケンゾウセイコウシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認機関			
妥当性確認機関名	SGS ジャパン株式会社		

¹ プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□（排出削減技術）を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報	
プロジェクト概要 ²	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】 森林の公益的機能の高度発揮に対する要請が高まるなか、地球温暖化防止や国土の保全、生物多様性の保全等の目的として、長伐期施業(主伐を 80 年～90 年に延ばす)により、針・広混交林施業への円滑な誘導を目指した間伐等の適切な実施により、CO2 の吸収量の増大を図る。</p> <p>【適格性基準との整合性】 森林法第 5 条に規定される地域森林計画該当地であり、森林施業計画書の長期の方針に基づいて管理しており、間伐方法及び間伐率は、施業計画認定基準判定において、当該市町村長により適正である旨判定され、クレジット発行期間内に土地の転用及び主伐は計画されていない。</p> <p>【法令遵守状況】 森林・林業基本法、森林法、森林の間伐等の関する特別措置法に該当し、それぞれの法令を遵守している。</p> <p>【採用技術】 測量機器について、面積測量はデジタルコンパストゥルーパルス 360BT 及びポケットコンパス、樹高測定器についてはデジタルコンパストゥルーパルス 360BT、また、胸高直径は輪尺及び直径巻尺を採用する。</p> <p>【モニタリング方法】 ガイドラインに従い、30ha を上回らないことを考慮し、地形、林相が類似した同一樹種区域の標準的な位置にモニタリングプロットを設定した。また、間伐等の調査時に成長量のバラつきがないことを確認した。</p> <p>【GHG 算定式の方法論への準拠性】 方法論 NO.R.001ver4.0(間伐促進型プロジェクト)に準拠している。</p> <p>【モニタリング体制】 モニタリングガイドライン(森林管理プロジェクト用)ver1.9に準拠し、モニタリング、算定、報告に必要な体制を構築している。</p> <p>【QA / QC 体制】 モニタリングガイドライン(森林管理プロジェクト用)ver1.9に準拠し、モニタリング体制の整備と自己確認及び内部監査等によるチェック体制により、品質保証と品質管理を確保することとしている。</p>

² プロジェクト概要は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関することを 2 ページ以内で具体的に記述してください。

プロジェクト実施場所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。)プロジェクト対象地別実施場所は次のとおりとする							
	モリタリン	林小班		プロジェクト実施場所(代表)				
	ポイント	番号	枝番	市町村	大字	字	代表地	筆数
	高根1他	371	他	高山市	高根町中洞	西洞	968-1	93
	朝日1他	206	他	高山市	朝日町青屋	橋ヶ谷	1950-1	117
	久々野1他	31	他	高山市	久々野町久須母	峠ノサコ	1340	72
	金山1他	280	他	下呂市	金山町弓掛	信濃柿	760-4	174
	付知1他	344	他	中津川市	付知町	南ヶ沢	522-1	145
	計							601
	※上記の実施場所は、5箇所のプロジェクト対象地の代表地を表記しています。すべてのプロジェクト実施場所については、別添「プロジェクト実施場所明細」を参照してください。							
<方法論 R001・R003 のみ> プロジェクト対象面積	年度	2008	2009	2010	2011	2012	計	
	高山市高根	90.35 ha	40.00 ha	44.95 ha	32.72 ha	42.00 ha	250.02 ha	
	高山市朝日	146.80 ha	72.99 ha	62.62 ha	71.43 ha	53.78 ha	407.62 ha	
	高山市久々野	44.34 ha	40.75 ha	21.46 ha	0.00 ha	0.00 ha	106.55 ha	
	下呂市金山	107.05 ha	17.56 ha	50.27 ha	48.38 ha	67.96 ha	291.22 ha	
	中津川市付知	45.68 ha	1.98 ha	4.70 ha	5.30 ha	18.27 ha	75.93 ha	
	計	434.22 ha	173.28 ha	184.00 ha	157.83 ha	182.01 ha	1,131.34 ha	
プロジェクト期間	2007年 4月 1日 ~2013年 3月31日(6年 ヶ月)							
クレジット期間	2008年 4月 1日 ~2013年 3月31日							
プロジェクト計画開始届提出日	2010年12月16日							
妥当性確認終了日	2011年 3月 7日							
想定削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計	
	t-CO ₂ ³	3,946	5,297	6,726	7,959	9,382	33,311	
適用モニタリング方法ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) ver.1.9							
適用方法論	方法論番号	R 001 ver4. 0.						
	方法論名称	森林経営活動による CO ₂ 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)						
ダブルカウントの防止措置								

³ 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要)	印
ダブルカウントの防止措置内容	<p>【① 類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)を明記します。 あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p style="text-align: center;">ホームページ ホームページ URL: http://www.kiso3sen.org</p> <p>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】 公的な報告・公表制度には参加していません。</p>	
備考欄		

以上

